

## ジャン・モネ EU 法セミナーの記録

回	日付／場所	報告論題
1	2008/4/12 南館 D2101	<p>EU 法における自由移動 対 社会権 ーグローバル化と欧州社会モデルのゆくえ</p> <p>1. 判例研究： Norbert Reich, “Free Movement v. Social Rights in an Enlarged Union – the <i>Laval</i> and <i>Viking</i> Cases before the ECJ,” <i>German Law Journal</i> 9:2 (2008), 125-161. 東史彦 椋山女学園大学非常勤講師／慶應ジャン・モネ EU 研究センター研究員</p> <p>2. 判例紹介： 国境を越えたサービス提供と “ソーシャル・ダンピング” Case C-346/06 <i>Dirk Ruffert v. Land Niedersachsen</i> (3 April 2008) 青柳由香 立正大学非常勤講師</p>
2	2008/5/10 南館 2B14 教室	<p>EU における資本の自由移動 対 労働者の権利 ーグローバル化と欧州社会モデルのゆくえ</p> <p>1. 判例紹介： フォルクスワーゲン事件 Case C-112/05 <i>Commission v. Germany</i>, Judgment of 23/10/2007 山内洋嗣 弁護士／慶應ジャン・モネ EU 研究センター研究員</p> <p>2. 判例研究： 欧州司法裁判所、フォルクスワーゲンと欧州会社法 <i>Peer Zumbansen &amp; Daniel Saam, “The ECJ, Volkswagen and European Corporate Law: Reshaping the European Varieties of Capitalism,” German Law Journal</i> 11 (1 November 2007). 上田廣美 亜細亜大学教授</p>
3	2008/6/14 南館 2B14 教室	<p>イギリスの議会主権と EU 法 加藤紘捷 日本大学法学部教授</p>
4	2008/7/12 南館 2B14 教室	<p>環境政策と EU 競争法ー “現代化” (Modernisation) の文脈からー 市川芳治 日本放送協会</p>
5	2008/10/11 南館 2B14 教室	<p>EU 競争法における和解(settlement)手続の導入と課題ー序論的考察 庄司克宏 慶應義塾大学教授</p>
6	2008/11/15 南館 4F 会議室	<p>1. 法的観点からみた環境統合原則 中西優美子 専修大学教授</p> <p>2. パートタイム労働指令の実相ー非典型労働規制の一断面 大木正俊 早稲田大学助手</p>
7	2008/12/20 南館 4F 会議室	<p>「国境なきテレビ指令」の改正について ー英国における国内法化の議論を中心にー 市川芳治 日本放送協会 専任主管</p>
8	2009/1/31 南館 4F 会議室	<p>1. (ポスト・デモクラシーからトランスナショナル・デモクラシーへ) 小川 有美 立教大学法学部教授</p> <p>2. EU 環境法ー環境のための権利および義務 大藤 紀子 獨協大学法学部准教授</p>

回	日付／場所	報告論題
9	2009/4/25 南館 4F 会議室	1. EU 化学物質規制にみる予防原則 (仮題) 増沢陽子 名古屋大学大学院環境学研究科准教授 2. (Japan: Still a Civilian Power in search for EU-Japan cooperation on international security -) 臼井実穂子 駒沢女子大学教授
10	2009/5/23 南館 4F 会議室	1. 日 EU 協力のための行動計画(2001-10年)に関する総括的評価 岡田隆 外務省欧州局政策課長 (報告) 小池洋次 関西学院大学教授 (討論) 2. (グローバル・ガバナンスと EU) 大芝亮 一橋大学法学研究科・教授
11	2009/6/27 南館 4F 会議室	1. 欧州における従業員参加～フランス法を中心に～ 上田廣美 亜細亜大学法学部教授 2. EU における予防化学物質管理 小島恵 早稲田大学法学学術院助手 3. (EU 対外関係における文化機関の役割) 譲原瑞枝 国際交流基金研究員
12	2009/12/19 南館 4F 会議室	1. EC 法における間接性差別禁止法理の形成と展開 黒岩容子 弁護士・早稲田大学大学院法学研究科 2. (まぐろはいかが? EU へ輸出されるタイとフィリピン産のツナ缶) アルフレッド・C・ロブレス・Jr. ドゥ・ラ・サル大学国際関係学教授 (マニラ)
13	2010/1/23 南館 4F 会議室	1. EU、イギリス、日本における看護師の移動—公権力と高度人材の越境移動要因 井上淳 一橋大学経済研究所専任講師 2. (ドイツのリアリストからみた EU とヨーロッパ政策) 葛谷彩 明治学院大学法学部政治学科講師
14	2010/4/24 南館 4F 会議室	1. EU の基本権保障と民主的統制—リスボン条約を通じた国内公法原則の援用を契機として— 福王守 駒澤女子大学人文学部准教授 2. (最近の EU 域内の銀行規制・監督の動向) 椎名康 金融庁監督局総務課主任金融情報分析官
15	2010/5/22 南館 4F 会議室	1. EU 対外関係における文化とアイデンティティ 譲原瑞枝 国際交流基金研究員 2. (ニース条約からリスボン条約へ) 田中俊郎 慶應義塾大学法学部教授、ジャン・モネ・チェア
16	2010/7/31 南館 4F 会議室	1. 日 EU 間 FTA と相互承認原則—トランス・タスマン・モデルの可能性 庄司克宏 慶應義塾大学院法務研究科 (法科大学院) 教授、ジャン・モネ・チェア 2. (欧州における危機が意味するもの) 嘉治佐保子 慶應義塾大学経済学部教授 3. (リスボン条約の履行—何が変わったか? 第 1 回目の評価) デイビッド・シリツキー EU 総合裁判所リーガル・クラーク
17	2010/9/25 南館 4F 会議室	1. (中東欧における EU 拡大) アイニアス・ラサス 日本学術振興会 (国連大学) 外国人特別研究員 2. (アイルランドの EU 統合政策—小国と EU 統合の視点から—) 小久保康之 東洋英和女学院大学国際社会学部教授 3. EU の庇護権 佐藤以久子 桜美林大学 LA 学群法学・政治学系准教授

回	日付／場所	報告論題
18	2010/10/23 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. イタリア法、欧州人権条約および EU 法の関係 東史彦 慶應ジャン・モネ EU 研究センター 研究員</li> <li>2. (日 EC 貿易摩擦の交渉史 1958 年-78 年) 鈴木均 新潟県立大学国際地域学部専任講師</li> <li>3. (EU の文民的安全保障政策) 小林正英 尚美学園大学総合政策学部准教授</li> </ol>
19	2010/12/4 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. (EU 拡大の現段階 欧州委員会の 2010 年拡大戦略分析を中心に) 東野篤子 筑波大学准教授</li> <li>2. (ノーベル賞の国際政治学 欧州統合とノーベル平和賞) 吉武信彦 高崎経済大学</li> <li>3. "Grundnorm"から"Cathedral"へ向かう EU 法 複雑な法制度の憲法的性質 Mariusz GOLECKI 准教授 ポーランド Lodz 大学</li> </ol>
20	2011/1/29 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『EU の国際政治』再考—国際政治経済学のアプローチから 明田ゆかり 慶應義塾大学法学研究科特別研究講師</li> <li>2. (『EU の国際政治』再考—EU 外交研究のアプローチから) 鶴岡路人 防衛研究所教官</li> <li>3. (『EU の国際政治』再考—欧州統合史のアプローチから) 細谷雄一 慶應義塾大学法学部准教授</li> </ol>
21	2011/4/30 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臓器移植医療に関する EU 指令の概要 神馬幸一 静岡大学人文学部准教授</li> <li>2. (EU 環境政策の対外的影響力：欧州環境スタンダードの戦略性に関する若干の考察) 臼井陽一郎 新潟国際情報大学教授</li> </ol>
22	2011/5/14 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスボン条約における EU の目的としての社会的市場経済—オールド自由主義の系譜としての経済秩序理論とその意義— 黒川洋行 関東学院大学経済学部教授</li> <li>2. (世界の航空産業におけるエアバス) グレン・S・フクシマ エアバス・ジャパン株式会社取締役会長</li> </ol>
23	2011/7/30 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧州におけるテロの傾向と EU のテロ対策 中林啓修 明治大学危機管理研究センター研究員</li> <li>2. (トランスナショナルな現実と規制の諸様相) 杉浦章介 慶應義塾大学経済学部教授</li> </ol>
24	2011/10/1 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. (ニュースにおける EU 像—EU 認識研究の視点から) 福井英次郎 (慶應ジャン・モネ EU 研究センター共同研究員)</li> <li>2. サイバーセキュリティと欧州の対応 土屋大洋 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授)</li> </ol>
25	2011/12/17 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. (航空政策におけるアクターとしての EU 対米オープンスカイ協定を事例として) 河越真帆 (鎌倉女子大学講師)</li> <li>2. EU 会社法の将来 上田廣美 (亜細亜大学法学部教授)</li> </ol>
26	2012/1/28 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスボン条約後のイタリア法と欧州人権条約の関係 東史彦 (慶應ジャン・モネ EU 研究センター)</li> <li>2. (ユーロ導入に至る 7 つの要素—政治・法律・経済の視点から共通通貨の前提条件を探る) 小林剛也 (財務省理財局総務課課長補佐／財務総合政策研究所客員研究員)</li> <li>3. EU の統合過程におけるゴーリズムの波及—グローバリズムが生み出すアンチ・グローバリズム 石井貫太郎 (目白大学教授)</li> </ol>

回	日付／場所	報告論題
27	2012/4/28 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU・中国関係の発展—通商関係から包括的な戦略的パートナーシップへ、1975年-2012年 林大輔（慶應ジャン・モネ EU 研究センター共同研究員）</li> <li>（欧州連続複合危機—その背景、課題、そして解決策を通じた新しい資本主義モデルの方向性） 山下英次（大阪市立大学名誉教授）</li> </ol>
28	2012/6/30 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>グローバル・『アジェンダ・セッター』としての EU についての一考察—2011 年欧州委コミュニケーション文書『マイグレーションとモビリティに対するグローバル・アプローチ』を手掛かりに 岡部みどり（上智大学法学部准教授）</li> <li>想定外にはできないユーロ変容 (Break up) 鈴木敏之（三菱東京 UFJ 銀行シニアマーケットエコノミスト）</li> <li>EU のエネルギー規制の『輸出』とロシア 蓮見雄（立正大学経済学部教授）</li> </ol>
29	2012/7/28 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>『水平的直接効果』をめぐる議論からの指令の直接効果概念の再検討—年齢差別禁止原則をめぐる ECJ の裁判例を中心に 柳生一成（慶應ジャン・モネ EU 研究センター共同研究員）</li> <li>EU 市民保護と市民の安全意識 中林啓修（明治大学危機管理研究センター研究員）</li> <li>日本からみた欧州危機—財政と金融、どちらが問題か？ 林秀毅（EUSI 主任研究員（経済））</li> <li>日本における EU 型複言語社会構築の可能性—言語教育政策と教育現場を考えて 田中桂子（明治学院大学国際学部国際学科教授）</li> </ol>
30	2012/9/29 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU の FTA における環境関連条項—断片化、多数国間化の可能性 関根豪政（日本学術振興会・特別研究員 PD）</li> <li>ヨーロッパ統合研究におけるコンストラクティヴィズム 東野篤子（筑波大学准教授）</li> <li>EU 政治理論の再検討—マルチレベル・ガバナンスの規範パワー？ 臼井陽一郎（新潟国際情報大学教授）</li> </ol>
31	2012/10/27 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>（欧州公共圏をめぐる安全保障の問題） 堀内めぐみ（桜美林大学国際学研究所研究助手）</li> <li>スポーツ放送と EU 法—サッカー試合放送権をめぐる 2 つの EU 判例を題材として 上田廣美（亜細亜大学法学部教授）</li> </ol>
32	2012/12/15 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU 基本権憲章上の庇護権の解釈・適用 佐藤以久子（桜美林大学 LA 学群法学・政治学系准教授）</li> <li>EU における移民の統合政策と長期居住第三国民の地位について 大藤紀子（獨協大学法学部教授）</li> </ol>
33	2013/1/26 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>制裁金の算定方法—制度目的達成に必要な裁量と予見可能性 放生朋子（ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス）</li> <li>EU 法、欧州人権条約とハンガリー憲法 小野義典（城西大学現代政策学部講師）</li> <li>マーストリヒト社会プロトコル再訪—欧州労使関係システムの起源 中野聡（豊橋創造大学経営学部教授）</li> </ol>

回	日付／場所	報告論題
34	2013/4/13 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>域内市場統合と EU-加盟国間関係：コア（根幹）からみる EU ガバナンスの現状とゆくえ 井上 淳（大妻女子大学比較文化学部准教授）</li> <li>国際秩序の変容とヨーロッパ統合 細谷 雄一（慶應義塾大学法学部教授）</li> <li>東京裁判 フランス人判事の無罪論 大岡 優一郎（テレビ東京編成局アナウンス部部长）</li> </ol>
35	2013/5/25 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU 法とイギリス法 加藤 紘捷（日本大学法学部教授）</li> </ol>
36	2013/6/29 南館 2B 33 教室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU 共通農業政策 豊 嘉哲（山口大学経済学部准教授）</li> <li>ネットワーク産業の規制とその法理 友岡 史仁（日本大学法学部教授）</li> </ol>
37	2013/7/27 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU 競争法の公共サービスに対する適用とその限界 青柳 由香（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授）</li> <li>環境の EU、規範の政治 臼井 陽一郎（新潟国際情報大学教授）</li> </ol>
38	2013/9/28 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU 指令による抵触加盟国法の排除的効果について 柳生 一成（一橋大学法学研究科後期博士課程）</li> <li>リスボン条約と欧州検察庁設立構想 森口 琴巳（ベルギーブリュッセル自由大学法学研究科後期博士課程）</li> <li>新聞における EU 像 福井 英次郎（ジャン・モネ EU 研究センター（慶應義塾大学）研究員）</li> </ol>
39	2013/11/2 南館 2B 34 教室	<ol style="list-style-type: none"> <li>単一監督機構（SSM）と欧州中央銀行（ECB） 庄司 克宏（慶應義塾大学法務研究科教授 Jean Monnet Chair）</li> <li>EU 先決裁定制度における国内裁判所の先決問題付託義務違反 西連寺 隆行（宮崎公立大学人文学部非常勤講師）</li> <li>イタリア憲法の基本権保障における EU 法の影響 東 史彦（ジャン・モネ EU 研究センター主任研究員）</li> </ol>
40	2014/12/7 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU における第三国出身者の統合について 小山 晶子（名古屋大学国際教育交流センター特任講師）</li> <li>EU 法における反性差別法理の発展 黒岩 容子（早稲田大学大学院法学研究科研究生・弁護士）</li> <li>ロベール・シューマンの国際政治観 宮下 雄一郎（松山大学法学部講師）</li> <li>欧州銀行監督・ドラロジュール報告から一元化まで 太田 瑞希子（亜細亜大学国際関係学部講師）</li> </ol>
41	2014/1/25 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>チャドと中央アフリカにおける EU 平和維持部隊の展開と民軍関係の危機 小澤 藍（政策研究大学院大学専門職）</li> <li>ポーランドのエネルギー政策－その概略と方向性－ 市川 頭（関西学院大学産業研究所准教授）</li> </ol>
42	2014/2/1 南館 4F 会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>EU と北朝鮮－課題と展望－ 井岡 博（群馬県立女子大学非常勤講師）</li> <li>EU 法の基本権の適用範囲 東 史彦（ジャン・モネ EU 研究センター（慶應義塾大学））</li> <li>環境イシューの多義化と EU 環境リーダーシップの諸相 和達 容子（長崎大学環境科学部准教授）</li> </ol>

回	日付／場所	報告論題
43	2014/4/26 南館 4F 会議室	<p>1. 欧州の化学物質法制の最新動向—予防原則と代替原則の観点からの検討 小島 恵 (早稲田大学法学研究科研究生)</p> <p>2. EU 法における国民国家的価値の概念化—EU 条約 4 条 2 項における国民的一体性 小場瀬 琢磨 (専修大学法学部講師)</p> <p>3. EU における 2 つの離脱可能性 "Grexit" と "Brexit"—スコットランドの英国からの分離独立問題との関連も含めて 山下 英次 (大阪市立大学名誉教授)</p>
44	2014/7/26 東館 G-SEC Lab	<p>1. 国際機関による加速化された特許統一—欧州特許条約の拡大(1977-2010 年) 金 善照 (立教大学大学院社会学研究科文部科学省国費留学生)</p> <p>2. 欧州福祉レジームと旧社会主義新規加盟国—チェコ共和国を事例に 中田 瑞穂 (明治学院大学国際学部教授)</p> <p>3. ウクライナ危機とグローバル・パワーシフト 蓮見 雄 (立正大学経済学部教授)</p>
45	2014/9/27 南館 4F 会議室	<p>1. EU における労働者の社会的基礎保障の課題：マンガルト・ショックの呪縛？ 山本 志郎 (中央大学大学院法学研究科博士後期課程)</p> <p>2. イギリスの軍用機国際共同開発路線 市毛 きよみ (慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程)</p> <p>3. EU と加盟諸国のシティズンシップ教育にみる『市民』像 細井 優子 (埼玉大学)</p>
46	2014/12/6 東館 8F ホール	<p>田中素香教授記念講演会</p> <p>1. ヨーロッパ経済統合を追って—統合研究の 40 年— 田中 素香 (中央大学経済学部教授)</p> <p>2. 田中素香先生の EU 研究の到達点 星野 郁 (立命館大学国際関係学部教授)</p> <p>3. 日本のヨーロッパ統合研究と田中素香教授 岩田 健治 (九州大学大学院経済学研究院教授)</p>
47	2015/1/24 南館 4F 会議室	<p>1. トランスナショナル・ガバナンスの法的枠組みと現実 杉浦 章介 (慶應義塾大学経済学部名誉教授)</p> <p>2. 医療政策の欧州化 モニカ・ステフェン (グルノーブル大学フランス国立科学研究センター名誉教授)</p> <p>3. ウクライナ危機と欧州 国末 憲人 (朝日新聞論説委員)</p> <p>4. EU 刑事司法協力と人権 北村 泰三 (中央大学大学院法務研究科教授)</p>
48	2015/4/25 南館 4F 会議室	<p>1. プライバシー・ビッグデータ・競争法—Facebook/WhatsApp 合併・欧州委員会決定 市川 芳治 (慶應義塾大学法科大学院非常勤講師・日本放送協会)</p> <p>2. EU における公共調達制度 天野 富士子 (西川 シドリー・オースティン法律事務所 (ニューヨーク州弁護士))</p>

回	日付／場所	報告論題
49	2015/6/27 南館 3 B23 教室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EUと北欧経済～グローバル化の世界で北欧モデルは持続可能か？～ 阿部 望（明治学院大学国際学部教授）</li> <li>2. 血液事業に関する EU 指令の概要 神馬 幸一（獨協大学法学部法律学科准教授）</li> <li>3. 欧州委員会による銀行のクロスボーダーM&amp;A の促進—EU の合併規制 に着目して— 石田 周（立教大学経済学研究科博士課程）</li> </ol>
50	2015/8/22 南館 4 階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 連邦主義と多中心主義の再考察 横山 彰（中央大学総合政策学部教授）</li> <li>2. プライバシー権の復権—自由と尊厳の衝突、そして近時の EU データ 保護改革 宮下 紘（中央大学総合政策学部准教授）</li> <li>3. WTO 法の物品の貿易における差別および非差別措置の禁止の射程に 関する一考察—EU 法との比較検討 東 史彦（ジャン・モネ EU 研究センター(慶應義塾大学)主任研究員)</li> </ol>
51	2015/12/25 南館 B 4 F DLR	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EU の『実質的シティズンシップ』 細井 優子（埼玉大学）</li> <li>2. EU の気候変動対策—COP21, その後に向けて 和達 容子（長崎大学）</li> <li>3. EU の対中国通商戦略 田中 素香（中央大学経済研究所客員研究員）</li> <li>4. 英国とヨーロッパ統合 田中 俊郎（慶應義塾大学名誉教授）</li> </ol>
52	2016/5/7 南館 4 階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ロジャー・コングルトン著、横山彰・西川 雅史監訳 『議会の進化 —立憲主義的民主統治の完成へ』について 西川 雅史（青山学院大学経済学部教授）</li> <li>2. 混合協定と EU—環境諸条約を例として— 兼頭 ゆみこ（中央大学法学部兼任講師）</li> </ol>
53	2016/7/16 南館 2B13	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EU 競争法の輸出 ジョルジョ・モンティ欧州大学院大学教授</li> <li>2. 脱退国民投票後の EU とイギリス ジョルジョ・モンティ欧州大学院大学教授</li> </ol>
54	2016/7/30 南館 4 階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EU 刑事法と加盟プロセス—旧ユーゴ諸国における事例— 森口 琴巳（ベルギー ゲント大学 / ブリュッセル自由大学 法学犯罪 学研究科博士後期課程）</li> <li>2. EU 法の一般原則の機能 佐藤 智恵（明治大学法学部）</li> <li>3. イギリスの民事裁判～EU 法、欧州人権条約の影響を中心に～ 松嶋 隆弘（日本大学総合科学研究所教授・弁護士（みなと協和法律 事務所））</li> </ol>
55	2016/9/24 南館 4 階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近年のイタリア労働市場改革：正規・非正規の二重市場の観点から 大木 正俊（姫路獨協大学法学部准教授）</li> <li>2. EU 域内における会社の移動性—その現状と展望 新津 和典（岡山商科大学法学部准教授）</li> <li>3. 英国の離脱と EU の将来 刀祢館 久雄（日本経済新聞 論説委員兼編集委員）</li> </ol>
56	2016/10/8 南館 4 階会議室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新著『欧州の危機—Brexit ショック』について 庄司 克宏（慶應義塾大学法務研究科教授/ジャン・モネ・チェア/ ジャン・モネ EU 研究センター所長）</li> </ol>

回	日付／場所	報告論題
57	2016/10/15 南館4階会議室	1. 著書『EU分裂と世界経済危機－イギリス離脱は何をもたらすか－』について 伊藤 さゆり (ニッセイ基礎研究所)
58	2016/10/22 南館4階会議室	1. ユーロはギリシャ危機で鍛えられた－Brexitにも揺るがない－ 伴野文夫 (フリー・ジャーナリスト (元NHK国際問題解説委員)) 2. ポピュリズム化する世界 国末憲人 (朝日新聞GLOBE編集長)
59	2016/10/29 南館4階会議室	1. 著書『迷走するイギリス－EU離脱と欧州の危機』について 細谷 雄一 (慶應義塾大学教授)
60	2016/11/12 南館2B11	1. 人工知能 (AI) 時代の競争法－“アルゴリズム”によるカルテル：欧米の最新事例を踏まえて－ 市川 芳治 (日本放送協会、慶應義塾大学)
61	2016/12/3 南館4階会議室	1. ヨーロッパ危機の震源地ドイツ 三好 範英 (読売新聞編集委員)
62	2016/12/10 南館B4F DLR	1. EU法における平等／反差別法理の多様な展開とその理論的背景 黒岩 容子 (日本女子大学非常勤講師) 2. イタリア憲法の基本権保障に対するEU法の影響 東 史彦 (ジャン・モネEU研究センター (慶應義塾大学) 主任研究員)
63	2017/1/14 南館4階会議室	1. 欧州のマイナス金利政策の検討 鈴木敏之 (株式会社三菱東京UFJ銀行 グローバルマーケットリサーチ シニアマーケットエコノミスト)
64	2017/1/28 南館4階会議室	1. 欧州懐疑派の台頭とEUのゆくえ 庄司克宏 (慶應義塾大学法務研究科教授/ジャン・モネ・チェア/ ジャン・モネEU研究センター所長)
65	2017/2/18 南館4階会議室	1. カナダ EU自由貿易協定 (CETA) の批准と国際法、EU法、及びベルギー法 東 史彦 (ジャン・モネEU研究センター (慶應義塾大学) 主任研究員・事務局長)
66	2017/3/28 南館4階会議室	1. 国内裁判所と国際裁判所による人権保障 ジャン＝ポール・コスタ (国際人権研究所所長・元欧州人権裁判所所長)
67	2017/4/8 南館4階会議室	1. Brexitとイギリス憲法－2017年ミラー事件の最高裁判決に触れて 加藤 紘捷 (元日本大学法学部教授)
68	2017/6/17 南館4階会議室	1. 著書『ミレニアム・チャレンジの修辞学』について 大隈 宏 (成城大学名誉教授)
69	2017/7/8 南館4階会議室	1. インターネットの自由と不自由 佐藤 真紀 (慶應義塾大学法務研究科非常勤講師) 2. ビッグデータの支配とプライバシー危機～EUデータ保護規則に向けた対応を中心に～ 宮下 紘 (中央大学総合政策学部准教授)